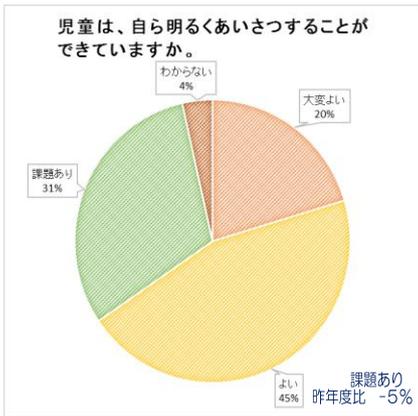


押上小学校だより

教育目標 ○ 挑戦する子 ○ つながる子 ○ 働く子

発行 墨田区立押上小学校
校長 根来 郁明
学校便り【第12号】
平成31年3月15日

平成30年度学校関係者評価の結果がまとまりました。今年度は、昨年度と比べると保護者の方が「課題あり」と評価した部分を減らすことができました。これからも保護者の皆様からのご意見を大切に受け止め、教育活動を推進してまいります。ご協力ありがとうございました。

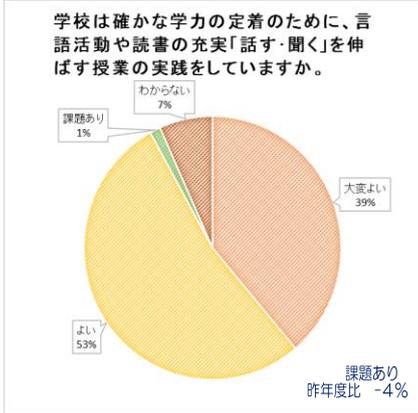


<あいさつについて>

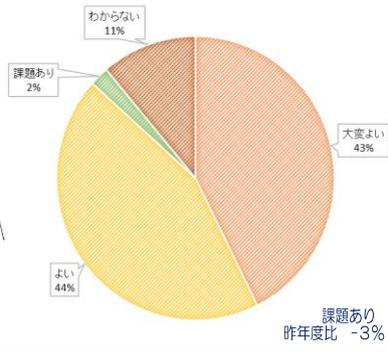
- ・特に、高学年の児童から大きな声で気持ち良くあいさつしてくれることに感心しています。
- ・あいさつをしてくれる子が増えうれしいです。
- ・登校中に登校班であいさつをする班を見たことがありません。
- ・あいさつをする児童が非常に少ない。自らするのは難しくてもこちらから声を掛けたときには反応してほしい。
- ・あいさつができる子とできない子に分かれている。家庭で声をかけていく必要がある。

あいさつは、子供の様子から見えやすいのでとらえ方が人によって大きく変わります。今年度も学校では、自らあいさつができる人になって欲しいと考え、あいさつ運動を実施してきました。

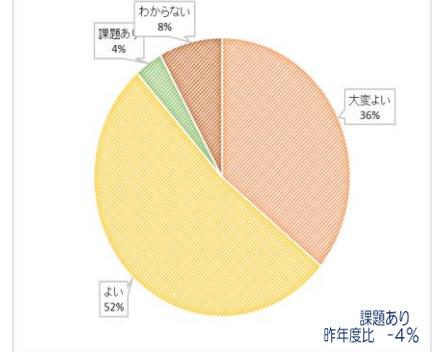
校内や一部の地域では響き渡るようになってきたあいさつですが、学校を出ると声が出ない、出せないという評価は、まだまだあります。学校と家庭、地域と協力し、同じ価値観で同じように声をかけ、あいさつの輪を広げていきたいです。



教職員は、日々の教育活動充実のために資質向上に努めていますか。



児童は、体を動かして休み時間を過ごしていますか。



<日常の取り組み・授業について>

- ・先生たちがとても誠実で精力的で信頼できる。柔軟な対応も多々あり素晴らしいと思う。
- ・積極的にたくさんの取り組みを行っていることがよく伝わりました。ありがとうございます。

年間を通して、「思いを伝え合うことのできる児童の育成」を研究主題として、主に国語科の「話すこと・聞くこと」に取り組んできました。年に数回、研究授業を行い、子供たちにとって分かりやすく楽しい授業を作るために実践と研究を進めています。

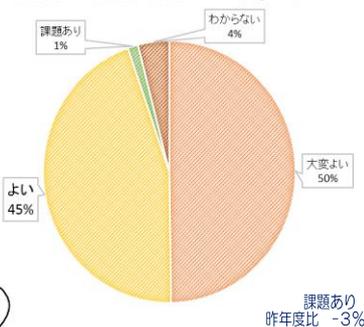
さらに、読み聞かせの時間や図書時間を確保し、言葉に触れる時間を増やしてきました。

<休み時間の遊び・体力向上について>

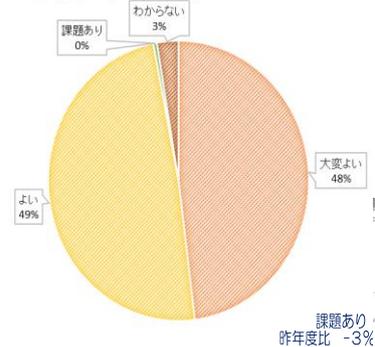
- ・毎日元気に遊んでいるようで、楽しい小学校生活が送れていることを嬉しく思っております。

休み時間に外で元気よく遊ぶ子を増やそうと、鉄棒週間、長縄大会や短縄検定を企画しました。今までも鬼ごっこやタスクをして遊ぶ子がいましたが、多種多様な遊びをする子が増えてきたことは、とても嬉しいことです。

学校は、縦割り班活動や地域の登校班での活動を通して、集団行動における社会性や協調性を育んでいますか。

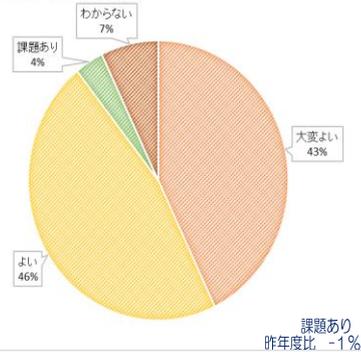


学校の教育環境(清掃・掲示・花壇)は、整っていますか。

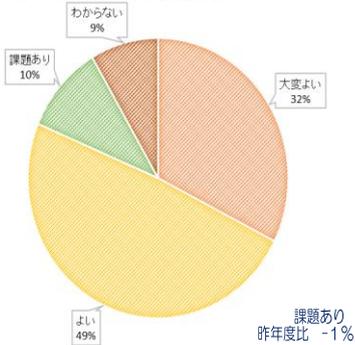


(文字の色について) オレンジ…保護者の意見 賛同
緑 …保護者の意見 課題あり
黒 …学校回答

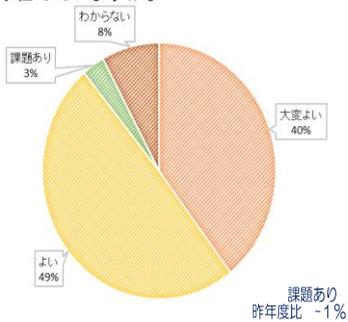
学校の安全点検や緊急対応体制は、整っていますか。



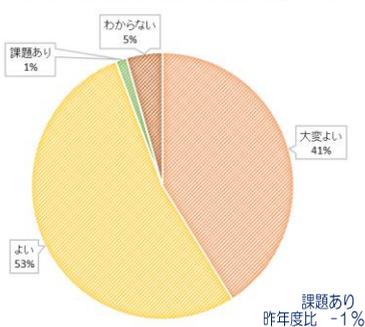
児童は、集団の一員として、きまりを守って行動していますか。



学校は、豊かな人間性の育成のために道徳や人権教育、いじめ防止授業に取り組んでいますか。



本校の教育方針や教育活動についての説明が伝わっていますか。



<防災・防犯について>

- 避難訓練などを通して、児童の防災意識を育む教育をさせていただいているかと思いますが、どういうケースで「引き渡し」となるのか、連絡なく迎えに行けない場合はどうなるのか、といったルールが開示されると良いと思います。
- 最近頻繁に放置自転車が多発しているように思います。搬入車のじゃまになったり、学校関係の方の掃除の妨げにもなったりしていて、防犯カメラの設置などを検討した方が良いと思います。
- 下校時、学校から少し離れた人気のない場所等不審者がいることがあるらしい。注意が必要。
- 地震の時など通学路で不安なところがあります。

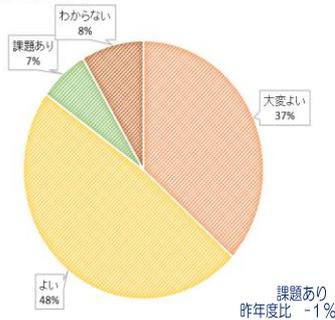
原則、区内に地震・豪雨・洪水その他の自然現象により家屋等に倒壊等の被害が発生したときには、保護者による引き渡しを行います。また、大規模の突発的事故が発生した場合も同様です。その他、区内の地震防災対策強化地域判定会や気象庁による特別警報が発表され、校長が必要と判断した場合に、引き渡しを行います。保護者の迎えのない児童は、学校もしくは第2避難場所（文花団地広場）に待機します。

昨年9月、学校や警察、PTAで地域見回りを行いました。危険箇所の情報交換を行い、PTA役員会やスクールゾーン会議等で発信してきました。防犯カメラの設置についても、区や警察、町会等で設置に向けて動きます。

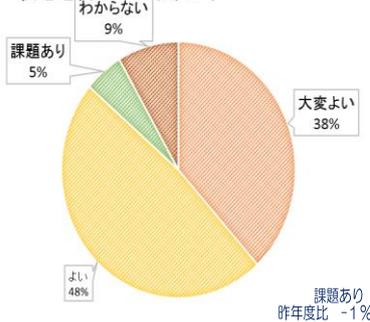
来校時の名札着用へのご協力ありがとうございます。昨年の冬より始めましたが、多くの保護者の方に名札を着用していただき嬉しく思っています。これからもよろしくお願ひいたします。また、管理員室前（校舎内入り口）での名簿記入もみなさんをお願いしています。これからも、子供たちが安全で安心できる学校となるよう協力をお願いいたします。



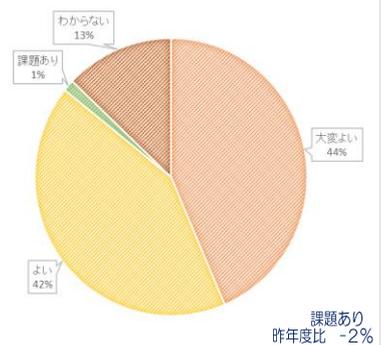
学校は、児童の体力向上のために「多様な運動遊びや運動種目」を経験させていますか。



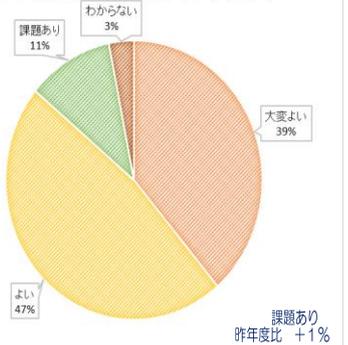
学校は、確かな学力定着のために、ICT機器を有効に活用し、児童の興味関心を高めていますか。



教職員は、PTAや地域の活動に協力的ですか。



家庭は児童の基本的な生活習慣を身に付けるために努力をしていますか。



<体育的な行事、練習について>

- 今年度も学校生活を充実して過ごせたように思います。行事等は積極的に頑張る姿も見られ、親としては成長を感じる1年でした。
- ロードレースの朝練や当日の応援ありがとうございます。
- 押上小としてリレーにも出場しているので、夏の水泳大会の申し込みも学校でとりまとめていただきたい。

押上小学校だけの問題ではないのですが、現在、学校に求められる役割は多岐にわたり、教員の長時間勤務が深刻化し、社会問題として大きくクローズアップされています。東京都では「ライフ・ワーク・バランス」「残業ゼロ」をスローガンに、全庁を挙げ、超過勤務の縮減やそのための仕事の進め方の改革に取り組んでいるところです。

本校ではこれまでも、教員の「働き方改革」の取り組みとして、出退勤時間の把握による意識改革を始め、会議等の精選、学校PCシステムを活用するなど、効率的に仕事を進める工夫をしてきています。

今後より一層、教職員が子供一人一人と向き合う時間を確保し、より質の高い教育活動を行うためには、心身ともに健康で、持てる力を十分発揮できるように、教職員の意識改革を行い、職場環境を整える必要があります。

そこで、来年度1週間の労働時間を60時間以内（過労死ラインを超えないように）、また、土・日曜日の連続勤務がないように考えています。休日等の大会等の教員の引率（学校集合）については、保護者の皆様による送迎をお願いしたいと考えています。全ての競技で現地集合、現地解散をお願いします。教職員の「働き方改革」の一環として、ご理解・ご協力をお願いいたします。

